

整備項目番号
No.

---

# N64フラッシュROMライター

## マニュアル

---

招布株式会社  
1999年3月9日

---

本書に記載されている内容は、予告無しに変更することがあります。  
本書の情報は、機密事項なので慎重に扱って下さい。  
本書に登場するシステム名、製品名は、一般に開発メーカーの登録商標です。  
©1998 MONEGI CORP.

## 目次

1. はじめに.....	1
1.1. 動作環境.....	1
2. セットアップ.....	2
2.1. デバイスドライバの確認.....	2
2.2. セットアップの方法.....	2
2.3. アンインストールの方法.....	3
3. 起動.....	4
4. 書き込みの手順.....	5
5. 各部の説明.....	6
5.1. 設定.....	6
5.2. ファイルを開く.....	7
5.3. 保存.....	7
5.4. 再プログラム.....	8
5.5. 実行.....	8
5.6. 終了.....	9
5.7. バージョン情報.....	9
6. 注意事項.....	10
7. エラーメッセージ.....	11

# 1.はじめに

本書では、NINTENDO64開発システム'Debugger-N64'用フラッシュROMライターソフトの導入方法および使用方法について解説しています。

本ソフトウェアには、以下の機能があります。

- ・ フラッシュROMカートリッジへの書き込み、読み出し
- ・ カートリッジ内のEEPROMへの書き込み、読み出し
- ・ カートリッジ内のSRAMへの書き込み、読み出し

## 1.1.動作環境

本ソフトウェアをセットアップするにあたり、本ソフトウェア以外にご用意いただくものについて説明します。

### コンピュータ

Windows95/98またはWindowsNT4.0が動作可能なIBM PC/AT互換機が必要です。ライターソフトのインストール用にハードディスクに約3メガバイトの空きが必要です。

### ターゲットシステム

Monegi Smart Pack-A または Monegi Smart Pack-B

### ソフトウェア

HuPIODデバイスドライバ (Windows95もしくはWindowsNT4.0用)

### 対応フラッシュカートリッジ

任天堂株式会社製128Mビット(NUS-8F16F(128M+256K))および256Mビット(NUS-16F32S(256M+256K))カートリッジに対応しています。

## 2.セットアップ

本ソフトウェアを使用するには、セットアップが必要です。ここでは、フラッシュROMライターソフトのセットアップ方法について説明します。

### 2.1.デバイスドライバの確認

本ソフトウェアをセットアップする前に、お使いのコンピュータにHuPIODデバイスドライバがインストールされているか確認して下さい。インストールされていない場合はまずHuPIODデバイスドライバをインストールして下さい。

デバイスドライバのインストール方法については、HuPIODデバイスドライバのマニュアルをご覧ください。

### 2.2.セットアップの方法

Windowsのエクスプローラなどから'Setup.exe'を実行します。

セットアッププログラムが起動しますので、セットアッププログラムの指示にしたがってインストールを行って下さい。

フラッシュアダプタをDebugger-N64のスロット2または3に接続して下さい。

インストール後、ご使用のターゲットタイプを選択して下さい。ターゲットの選択は「ターゲット選択」アプリケーションを使用します。スタートメニューから「ターゲット選択」を選択して下さい。

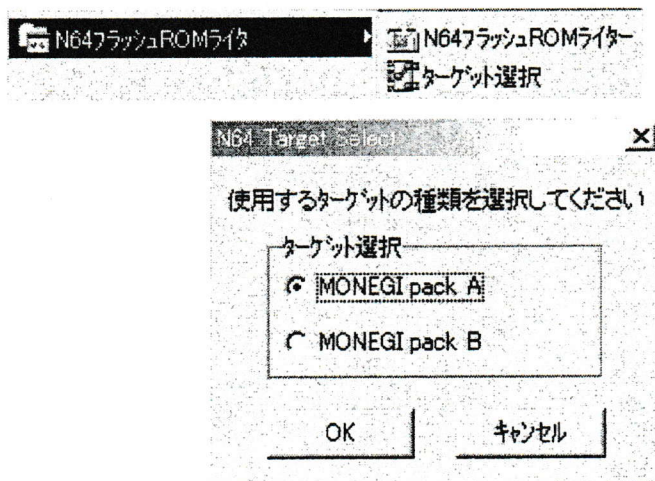


図 1 ターゲット選択

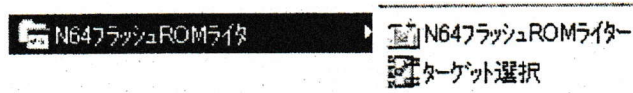
MSP-AまたはMSP-Bを選択して「OK」を選択して下さい。

## 2.3. アンインストールの方法

本ソフトウェアには、アンインストーラーが付属しています。  
フラッシュROMライターが不要になり、アンインストールする場合はWindowsコントロールパネル”アプリケーションの追加と削除”からアンインストールを行って下さい。

### 3.起動

フラッシュROMライターの起動は、スタートメニューのN64FCWアイコンを選択して起動します。



## 4.書き込みの手順

ROMイメージファイルをフラッシュカートリッジに書き込む手順を説明します。

1. Debugger-N64、N64の電源を入れます。
2. N64FCWを起動します。
3. フラッシュカートリッジアダプタのカートリッジ抜き差し禁止ランプが消灯していることを確認して、書き込みを行うフラッシュカートリッジをアダプタに接続します。カートリッジのラベル面を手前にして接続します。
4. 「開く」をクリックして書き込みを行うファイルを選択します。

書き込むファイルをフラッシュROMライターのウィンドウにドロップしても、書き込みを行うことができます。



## 5.各部の説明

フラッシュROMライター各部の説明をします。

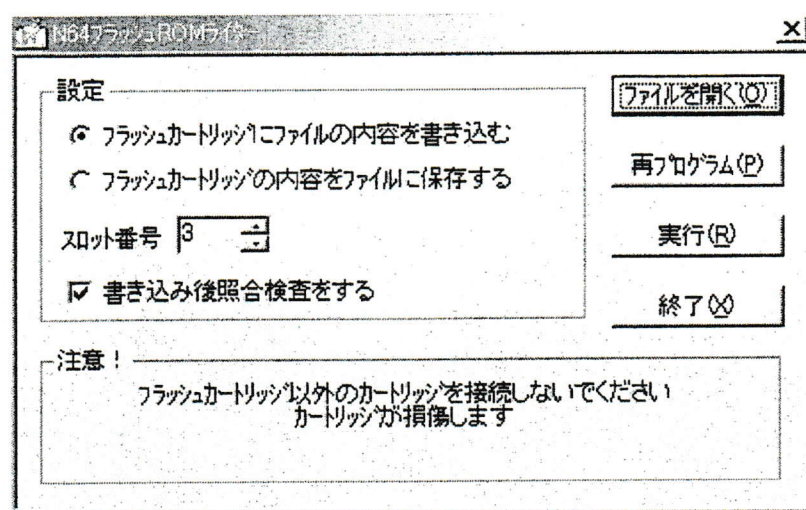


図 2 フラッシュROMライターウィンドウ

### 5.1.設定

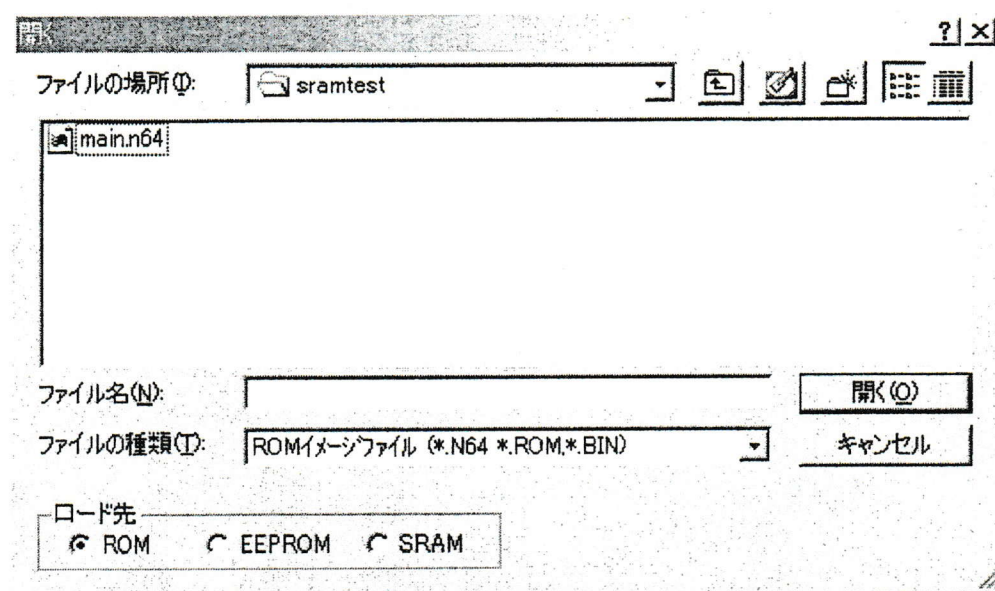
フラッシュカートリッジに対して行う処理を選択します。

- ・フラッシュカートリッジにファイルの内容を書き込む  
ファイルの内容をフラッシュROM、EEPROMまたはSRAMのいずれかのデバイスへ書き込みます。フラッシュROMへ書き込むデータはMAKEMASK済みのファイルで無ければ、書き込んだプログラムをN64で実行することができません。
- ・フラッシュカートリッジの内容をファイルに保存する  
フラッシュカートリッジのフラッシュROM、EEPROMまたはSRAMの内容をファイルに保存します。
- ・スロット番号  
フラッシュカートリッジアダプタが接続されているDebugger-N64のスロット番号を設定します。スロットは3（下から4番目）および2（下から3番目）の指定が可能です。
- ・書き込み後照合検査をする  
この項目をチェックするとフラッシュカートリッジへの書き込み後に、ファイルの内容とカートリッジの内容を照合します。

## 5.2. ファイルを開く

設定で「フラッシュカートリッジにファイルの内容を書き込む」を選択している場合に機能します。

このボタンをクリックすると次のようなウィンドウが開きますので、書き込み先のデバイス・ファイル名を選択して下さい。

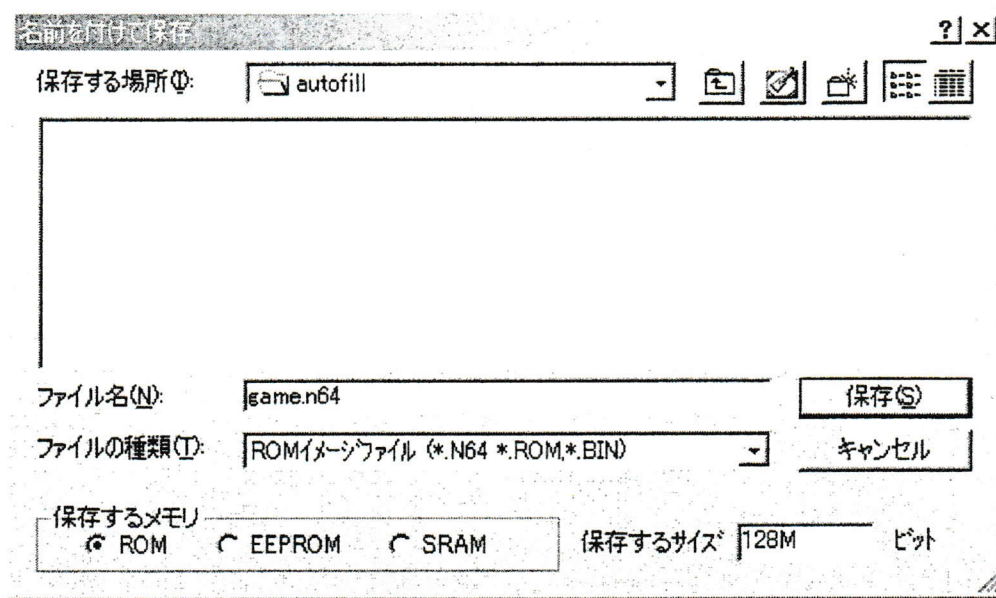


注意：フラッシュカートリッジアダプタには、フラッシュカートリッジ以外のカートリッジ接続してはいけません。接続した場合、カートリッジが損傷する恐れがあります。

## 5.3. 保存

設定で「フラッシュカートリッジの内容をファイルに保存する」を選択した場合に機能します。

このボタンをクリックすると次のようなウィンドウが開きますので、保存するデバイス・サイズ・ファイル名を入力して下さい。



EEPROMを保存する場合はサイズを自動的に認識しますので、サイズ指定は不要です。  
サイズの指定は次のように指定します。

128Mビットを指定する場合は”128M”  
256Kビットを指定する場合は”256K”

注意：フラッシュカートリッジアダプタには、フラッシュカートリッジ以外のカートリッジ  
接続してはいけません。接続した場合、カートリッジが損傷する恐れがあります。

## 5.4.再プログラム

最後に書き込んだファイルを書き込みます。  
同じファイルを複数のカートリッジに書き込む場合に便利です。

## 5.5.実行

書き込んだプログラムの動作確認をするために、フラッシュカートリッジのプログラムを実行します。

フラッシュカートリッジアダプタの抜き差し禁止ランプが消灯しているのを確認して、フラッシュカートリッジアダプタにフラッシュカートリッジをセットして下さい。

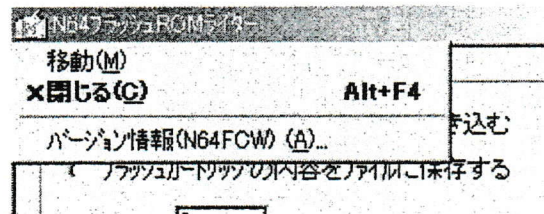
## 5.6.終了

フラッシュROMライターを終了します。ターゲットはリセットされます。

## 5.7.バージョン情報

フラッシュROMライターのバージョン情報を確認するには、次の手順でバージョン情報を表示させます。

- ・フラッシュROMライターのタイトルバーの左に表示されているアイコンをクリック
- ・メニューが表示されるので「バージョン情報(N64FCW)(A)...」を選択



## 6.注意事項

フラッシュカートリッジの抜き差しはフラッシュカートリッジアダプタのランプが消灯しているときに行ってください。ランプが消えない場合は、フラッシュカートリッジライターを終了してください。終了しても消えない場合は、Debugger-N64の電源を一旦切ってください。

フラッシュカートリッジアダプタには、フラッシュカートリッジ以外のカートリッジ（市販のゲームカートリッジなど）を接続しないでください。接続した場合カートリッジが損傷する恐れがあります。

## 7.エラーメッセージ

フラッシュROMライターが出力するエラーメッセージと、その意味について説明します。

エラーメッセージ	エラーの意味・対処法
フラッシュカートリッジが正しくセットされているか確認して下さい	次の要因が考えられます 1. フラッシュカートリッジアダプタの接続と、スロット番号の設定が合っていない 2. フラッシュカートリッジアダプタにフラッシュカートリッジが接続されていない 3. フラッシュカートリッジアダプタにフラッシュカートリッジ以外のカートリッジが接続されている 1の場合はスロットの設定とフラッシュカートリッジアダプタの設定をあわせて下さい。 2の場合はフラッシュカートリッジを接続して下さい 3の場合はフラッシュカートリッジアダプタにフラッシュカートリッジ以外のカートリッジを接続しないで下さい。カートリッジが損傷する恐れがあります。
デバイス'HuPIOD'のオープンに失敗しました。	HuPIODデバイスドライバが使用できない場合に表示されます。HuPIODデバイスドライバがシステムにインストールされ、正常に動作しているかどうか確認して下さい。HuPIODのインストールについては、HuPIODデバイスドライバのマニュアルを参照して下さい。 ドライバが正常に動作している場合は、他のアプリケーションがHuPIODデバイスを使用している可能性があります。
ターゲットの初期化に失敗しました。接続および電源を確認して下さい。	Debugger-N64の接続が間違っていたり、電源が入っていない場合に表示されます。Debugger-N64の接続および電源を確認して下さい。
ライタープログラムが起動できません。	フラッシュROMライター(N64FCW.EXE)と同じディレクトリにN64FCW.N64が存在しない場合に表示されます。セットアッププログラムを実行してインストールして下さい。
フラッシュメモリの消去に失敗しました。	フラッシュメモリが壊れている場合に示される可能性があります。何度か実行しても改善されない場合は、製造元へ連絡して下さい。
照合エラー	書き込みに失敗した場合に表示されます。何度か実行しても改善されない場合は、製造元へ連絡して下さい。
すでにフラッシュROMライターが起動しています。	フラッシュカートリッジライターがすでに起動中のとき表示されます。起動中のフラッシュROMライターを終了するか、起動中のフラッシュROMライターをお使い下さい。